

# Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022

## 【受賞者のプロフィール等】

### 藤井 光 (ふじい ひかる)

1976年東京都生まれ、東京都在住。  
2004年パリ第8大学美学・芸術第三博士課程DEA修了。

#### ○主な活動

芸術は社会と歴史と密接に関わりを持って生成されるという考え方のもと、様々な国や地域固有の文化や歴史を、綿密なリサーチやフィールドワークを通じて検証し、同時代の社会課題に応答する作品を、主に映像インスタレーションとして制作している。

#### ○主な展覧会

「あいちトリエンナーレ2019」(名古屋市美術館、2019)  
「Les nucléaires et les choses」(カディスト、フランス、2019)  
「カタストロフと美術のちから展」(森美術館、東京、2018) など。



《核と物》 2019

### 山城 知佳子 (やましろ ちかこ)

1976年沖縄県生まれ。  
2002年沖縄県立芸術大学大学院環境造形専攻修了。

#### ○主な活動

出身地である沖縄の地理的・政治的状況と歴史を起点に、東アジア地域で取り残された人々の声、体、魂を探りながら、アイデンティティ、生と死の境界、歴史的記憶の移り変わりをテーマに、写真とビデオを使用して制作。映像の潜在性とパフォーマンスの可能性に挑戦し続けている。

#### ○主な展覧会

「話しているのは誰？現代美術に潜む文学」(国立新美術館、東京、2019)  
「Asia Pacific Breweries Foundation Signature Art Prize 2018」(シンガポール美術館、シンガポール、2018)  
「あいちトリエンナーレ2016」(旧明治屋栄ビル、名古屋、愛知、2016)  
「第2回 恵比寿映像祭 歌をさがして」(東京都写真美術館、東京、2010) など。



《チンピン・ウェスタン 家族の表象》 2019